

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 3月

平成30年3月1日の推計人口 1,348,529人
世帯数 560,133世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成30年3月1日現在の推計人口は、1,348,529人で、前月(1,350,140)に比べ1,611人の減少となった。

市部では大村市(55)の1市で増加し、長崎市(525)、佐世保市(436)、諫早市(95)、西海市(72)、南島原市(69)、雲仙市(61)、島原市(59)、壱岐市(55)、五島市(50)、平戸市(36)、対馬市(30)の11市で減少した。

郡部において川棚町(3)の1町で増加し、時津町(125)、新上五島町(29)、長与町(19)、佐々町(5)、波佐見町(2)、東彼杵町(1)の6町で減少した。

自然動態は、出生数843人、死亡数1,586人で743人の減少、社会動態は、転入者数2,449人(県内転入を含む)、転出者数3,317人(県内転出を含む)で、868人減少となった。

2 世帯数

平成30年3月1日現在の世帯数は、560,133世帯で前月(560,990)に比べ857世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 1月

1人あたり現金給与総額 252,247円
対前月比 55.7%減少
対前年同月比 1.2%増加

1 賃金

1月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額252,247円で、前月に比べ55.7%減少し、前年同月に比べ1.2%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は244,392円で、前月に比べ2.1%減少し、前年同月に比べ1.5%減少した。

特別給与額は7,855円で、前年同月に比べ、6,803円増加した。

2 労働時間

1月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は144.4時間で、前月に比べ9.1%減少し、前年同月に比べ4.5%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は133.0時間で前月に比べ8.4%減少し、前年同月と比べ4.2%減少した。

所定外労働時間数は11.4時間で、前月に比べ16.2%減少し、前年同月に比べ8.1%減少した。

3 雇用

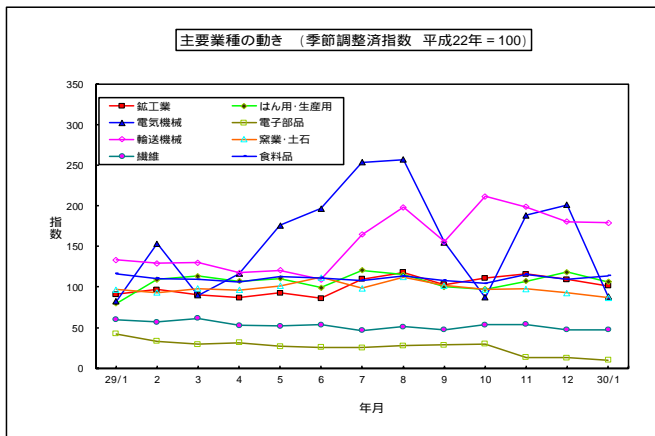
1月の常用労働者数は223,937人で、前月に比べ3.2%減少し、前年同月に比べ3.6%減少した。

【鉱工業生産指数】…………… 1月

平成30年1月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	101.3	7.2	98.0	18.4
九州	p104.6	p7.6	p100.4	p2.2
全国	99.3	6.8	95.4	2.5



平成30年1月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が101.3で前月比は7.2%の減、原指数は98.0で、対前年同月比は18.4%の増となった。

業種別にみると、食料品工業など2業種が上昇し、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、はん用・生産用機械工業、窯業・土石製品工業、繊維工業、輸送機械工業など11業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
食料品工業	4.5	2.5	煮干

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	56.0	21.3	交流電動機
電子部品・デバイス工業	24.8	74.8	半導体集積回路
はん用・生産用機械工業	9.9	30.1	クレーン
窯業・土石製品工業	6.2	10.8	生コンクリート

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 2月

総合指数(H27=100)	101.5
対前月比 (%)	0.3
対前年同月比 (%)	1.4

平成30年2月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、101.5である。

前月比は0.3%の下落で、主な下落要因は「食料」の1.1%、「被服及び履物」の1.0%であり、主な上昇要因は「教養娯楽」の+0.5%である。

前年同月比は、平成29年11月は+0.4%、12月は+1.1%、平成30年1月は、+1.5%と推移した後、2月は1.4%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は101.0であり、前月比0.1%、前年同月比は+1.0%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

光熱・水道	0.2%
家具・家事用品	0.6%
交通・通信	0.1%
教養娯楽	0.5%
諸雑費	0.3%

下落した費目

食料	1.1%
被服及び履物	1.0%
保健医療	0.2%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 2月

消費支出(一世帯当たり) 273,668円
前月比 64,095円減(19.0%減)

平成30年2月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は273,668円で、前月比19.0%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は70.0%であった。

主な支出内容	支出額(円)	対前月増減率(%)
食料	67,990	3.4
住居	21,963	40.7
光熱・水道	28,891	12.2
交通・通信	35,413	42.9
教養娯楽	23,254	45.5

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。